

自分で守る
みんなで守る
防災教育

防災ノート

(小学校編：児童用)

年 組 番 氏名

小学生の皆さんへ

- 私たちは、豊かな自然あふれる北海道で、自然のめぐみと自然災害の両方を受け止めながら暮らしています。
小学生の皆さんは、色々な災害にそなえて、次のことを身に付けることが大切です。

- ① 安全に行動することの大切さや、災害の危険を理解すること
- ② 日常生活における安全の状況を判断し、安全な行動ができること
- ③ 周りの人の安全への気配りや、簡単な応急手当ができること

小学校生活を通して、これらのことを身に付け、「自分を守る、みんなでまもる」ことができる人になることを期待しています。

防災ノート作成のねらい

- 自然災害から命を守るために必要な知識を学び、安全に行動できるようになるためには、社会科や理科など、各教科で学ぶ内容のつながりを考えることが大切です。
- 普段の授業や「1日防災学校」等での体験したことを記入して、学んだことをまとめるために防災ノートを活用しましょう。
- ノートができたら、学んだことや災害への備えについて、友人や家族と話し合しましょう。

教科等：

授業日 月 日

学んだことをかきましょう

自分たちにできることはどのようなことですか？

教科等：

授業日 月 日

学んだことをかきましょう

自分たちにできることはどのようなことですか？

教科等：

授業日 月 日

学んだことをかきましょう

自分たちにできることはどのようなことですか？

教科等：

授業日 月 日

学んだことをかきましょう

自分たちにできることはどのようなことですか？

教科等：

授業日 月 日

学んだことをかきましょう

自分たちにできることはどのようなことですか？

教科等：

授業日 月 日

学んだことをかきましょう

自分たちにできることはどのようなことですか？

「1日防災学校」

実施日 月 日

取り組んだ内容

学んだことをかきましょう

自分たちにできることはどのようなことですか？

先生からのメッセージ

メッセージを読んで気付いたこと、考えたこと

自分で守る
みんなで守る
防災教育



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

本事業は、SDGsのうち
ゴール11に関連するものです。



北海道
教育委員会

自分で守る
みんなで守る
防災教育

防災ノート

(小学校編：指導者用)

防災ノート作成のねらい

- 自然災害等から命を守るために必要な知識や的確な判断力、主体的に行動する態度等を身に付けるためには、社会科や理科など、教科等で学ぶ防災についての内容を相互の関係で捉えることが大切です。
- 普段の授業での学びと「1日防災学校」での体験したことを記入して、学んだことをまとめるために防災ノートを活用しましょう。
- 防災教育で学んだことを、友人や家族と話し合うなどして、防災活動の我が、日常の暮らしの中に広がる取組を進めましょう。

Point !

防災教育は普段の授業で実施可能です。

Point !

普段の授業と「1日防災学校」の取組を組み合わせると効果的です。

教科等における防災教育（学習指導要領抜粋）

■ 低学年

- 生活 「学校生活に関わる活動」
- 体育 「体づくり運動の遊び」

■ 中学年

- 社会 3年 「地域の安全を守る働き」
- 4年 「人々の健康や生活環境を支える事業」
- 理科 4年 「雨水の行方と地面の様子」

■ 高学年

- 社会 5年 「我が国の国土の自然環境と国民生活との関連」
- 6年 「国や地方公共団体の政治」
- 理科 5年 「流れる水の働きと土地の変化」
- 6年 「土地のつくりと変化」

このほか、道徳や特別活動でも、防災について学ぶことができます。

教科等：社会科

授業日 ●月 ●日

学んだことをかきましよう

「地域の安全を守る働き」

- ・地震が起きた時に、警察や消防の人が、町の人たちと協力してみんなを守ってくれていることがわかりました。

自分たちにできることはどのようなことですか？

- ・避難する時は、警察や消防の人の言うことをよく聞いて避難する。
- ・自分より年下の子や困っている人に声をかけて一緒に避難する。

教科等：

- 「教科等」の欄については、社会科、理科等の等の教科に加え、総合的な学習の時間や特別活動（学級活動、学校行事）などの教育活動を記載します。

学んだこ

- 「学んだことをまとめよう」については、内容名とともに、その内容で学習した防災に係る事項を、箇条書き等でまとめて記載します。

単元名「

自分たちにできることはどのようなことですか？

「1日防災学校」

実施日 ●月 ●日

取り組ん

- 防災教育については、各教科等の教育内容を相互の関係で捉えた上で資質・能力を育むことが重要であることから、「1日防災学校」を活用して、各教科等で学んだ内容を振り返り、学びを深めることが考えられます。

学んだこ

- 例えば、市町村防災担当部局の職員を講師として、ハザードマップを活用しながら、消防等の緊急時の活動について触れるなど、「1日防災学校」と教科の関わりを児童が意識できるよう、指導願います。

※ 学習の順序によっては、「1日防災学校」で学んだことを各教科で振り返ることも考えられます。

自分たちにできることはどのようなことですか？

津波が来たら、自分で高いところに避難する。

町の職員さんに教えてもらったハザードマップに書いてある

あぶない場所には近づかない。

先生からのメッセージ

- 例えば、学年末において、学級担任教諭が児童に対してメッセージを記載し、メッセージを読んだ児童が改めて、防災意識を高めるとともに、地域社会の一員であることを自覚し、主体的に行動できる態度を育むことができるよう、指導願います。

メッセージを読んで気付いたこと、考

自分で守る
みんなで守る
防災教育



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

本事業は、SDGsのうち
ゴール11に関連するものです。



北海道
教育委員会
